

自由民主党岩手県支部連合会 様
広瀬めぐみ 様

2022年2月7日
日本共産党岩手県委員会

広瀬めぐみ氏の日本共産党に対する誹謗中傷発言に抗議する

自由民主党岩手県連の参院選岩手選挙区の予定候補者である広瀬めぐみ氏は、2月4日の自身のツイッターで、「立民は資本主義、民主主義に立脚するはずなのに、なぜ、個人の資本を否定する共産党と組めるのか、法律家の私には最大の謎。自分の稼いだものも、他人の稼いだものも、すべて“みんなのもの”で、党が管理し分配する“共産主義”と手を組んだのですよね?! 私たちの自由を手放したも同然じゃないですか。」「票取りのために耳触りのよいことを言っても、本質は個人の自由を認めない共産主義。どれだけ恐ろしいかは歴史が証明していると思います。」と発言しました。

広瀬氏のこの発言は、事実に基づかないどころか日本共産党の姿を歪曲し、誹謗中傷するものです。

- (1) 日本共産党は、最も基本的な理念と目標、実現の展望と基本政策等を示した党綱領で、「社会主義的変革の中心は、主要な生産手段の所有・管理・運営を社会の手に移す生産手段の社会化である。社会化の対象となるのは生産手段だけで、生活手段については、この社会の発展のあらゆる段階を通じて、私有財産が保障される」と明記しています。広瀬氏の「個人の資本を否定する共産党」という発言は、全くの暴論で、そういう用語も存在しません。「自分が稼いだものも、他人が稼いだものも、すべて“みんなのもの”で、党が管理し分配する共産主義」との発言は、社会主義についての基礎知識に欠ける誹謗中傷以外の何物でもありません。
- (2) 広瀬氏は「個人の自由を認めない共産主義」と発言しています。日本共産党綱領では、「社会主義・共産主義の日本では、民主主義と自由の成果をはじめ、資本主義時代の価値ある成果のすべてが、受けつがれ、いっそう発展させられる」「社会主義・共産主義の社会がさらに高度な発展をとげ、搾取や抑圧を知らない、国家権力そのものが不必要になる社会、人間による人間の搾取もなく、抑圧も戦争もない、真に平等で自由な人間関係からなる共同社会への本格的な展望が開かれる」と明記しています。日本共産党がめざす将来展望は、人間の自由と全面的な発展が保障される社会です。
日本共産党は、今年で党創立100周年を迎えます。戦前は絶対主義的天皇制の下で、国民の自由も民主主義もない時代でしたが、日本共産党は、「天皇制の専制支配を倒し、主権在民、国民の自由と人権をかちとるためにたたかった」「他のすべての政党が侵略と戦争、反動の流れに合流する中で、日本共産党が平和と民主主義の旗を掲げて不屈に戦い続けたことは、日本の平和と民主主義の事業にとって不滅の意義を持った」と党綱領で明記しています。だからこそ、戦後も同じ日本共産党という党名で活動を続けることができたのです。法律家を名乗るなら、こうした歴史の事実を踏まえて発言すべきです。
- (3) 広瀬氏の発言は、日本共産党に対し、事実を捻じ曲げた誹謗中傷を行うことによって、日本共産党との共闘、野党共闘を批判するものとなっています。二重に根拠のない攻撃、誹謗中傷というべきものです。

広瀬氏は、国会議員をめざす自由民主党公認の予定候補者であり、私たちは事実に基づく正々堂々とした政策論争を求めるものです。今回の広瀬氏の日本共産党への事実を捻じ曲げた誹謗中傷というべき発言について、強く抗議するとともに、訂正と謝罪を求めるものです。